

## 解析ファイルの使用方法

1. [データ入力ファイル]を開きデータを入力してください。但し、色つきセルには入力できません。
2. 検体 No は必ず入力してください。(未入力だと解析対象になりません)
3. Flag 名称は機器に応じて変更してください。
4. Flag ありの場合は該当 Flag 名称のセルに「1」を入力してください。
5. Flag は青：WBC 系，赤：RBC 系，緑：PLT 系です。
6. [データ入力ファイル]のデータ入力部分をコピーし，[解析ファイル 1 (または 2)]の[DATA シート]の左上のセル (AZ3) をクリックし，貼付けてください。
7. [解析ファイル 1 (または 2)]の[DATA シート]CW1 セル～EA1 セルに Flag 名称を入力または[データ入力ファイル]からコピーしてください。
8. 以上の操作により[解析ファイル 1 (または 2)]の[DATA シート]にデータが入力されれば，[Sheet1]の条件に基づいて自動的に計算され，グラフも表示されます。
9. [解析ファイル 1 (または 2)]の[Sheet1]の異常判定基準 (黄色部分) と再検基準 (ピンク部分) の数値を変更すると，変更後の条件で自動的に再計算され，グラフも変更されます。

- [解析ファイル 1]と[解析ファイル 2]は設定できる再検基準項目に一部違いがあります。必要に応じて使い分けてください。

解析ファイル	再検基準設定項目										
	1	WBC	RBC	Hgb	PLT	MCV	RDW-CV	Neu%	Lym%	Mon%	Eos%
2	WBC	RBC	Hgb	PLT	MCV	RDW-CV	MCHC	Neu%	Neu#	Lym%	Lym#

- [解析ファイル 1 (または 2)]の[Data シート]に直接入力しても構いませんが，ファイル容量が大きいため入力に時間がかかります。一旦[データ入力ファイル]に入力し，[解析ファイル 1 (または 2)]へコピーすることをお奨めします。
- [解析ファイル 1 (または 2)]の[Data シート]計算式は 5000 検体 (5002 行) まで入力されています。
- 5000 検体以上の場合，「A 列～AY 列」および「EB 列～EG 列」の計算式を 5003 行以降のセルにコピーして使用ください。
- 5000 検体未満の場合は，データ入力後にデータの入力されていない行の「A 列～AY 列」および「EB 列～EG 列」の計算式を削除すると容量が小さくなります。

## 注意

解析ファイル[Sheet1]の異常判定基準は比率(%), 絶対数(#)共に**入力した数字より大きい(>)**場合を異常と検出します。

異常判定基準	%	#
Other	0	0
Blast	0	0
NRBC	2	19.9
AT-LY	2	699.9
IG	2	99.9
LS	20	2499.9
Imm(blast+IG)	2	99.9

再検基準	下限	上限
WBC	20	150
RBC	200	700
Hgb	8	18
PLT	7	50
MCV	60	110
RDW-CV	0	18
Neu%	30	100
Lym%	0	60
Mon%	0	100
Eos%	0	100
Bas%	0	100

解析ファイル[Sheet1]の再検基準は**下限は入力した数字未満(<)**, **上限は入力した数字より大きい(>)**場合に再検と判定します。

計算式等には間違いがないことを確認していますが, 不具合が残っている可能性もあります。本解析ファイルで得られた結果については使用される方の責任において確認ください。